

ご協力ありがとうございます！(敬称略)

【12月の新入会】

東原 洋子 (センター)
株式会社 トリスタン (センター)
宮地 純 (センター)

【12月の寄付金】

高田川部屋、後藤義信
九州電力生活協同組合



【12月の寄付品】

麻生誠、馬場雄治、古賀知明、中村恭子、坂田艶子
福岡県青少年団体連絡協議会、西村征子、石橋幸裕
永石木工所、小坂啓史、前田富洋、瓜生道明
福岡リバティライオンズクラブ、タカモト(株)福岡支店
元オーレック田尻さん、(株)丸善自動車、第一交通(株)
柴戸一秀、九州電力(株)福岡支社、進藤徳博
石井先生

鬼木大明神 今月の一句

世の中は基本的にうまく行かないものだ
うまく行くのは偶然なのだ
「苦しい時は上り坂だ」
山の頂に向かっている
証拠なのだ！ 上を見て進め！
今は上り調子なのだ！
顔を上げて進めば
必ず開ける！
不満を言うな！ 諦めるな！
むしろ
「楽な時は下り坂だ」
急に転げ落ちるかも知れないと思え

喝

FIDR ベトナム山岳民族の一一行センターを訪問

12月5日から6日にかけて、FIDRという国際協力団体が招待したベトナムの山岳民族一行12名がセンターを訪問し、



農業やオイスカ活動の見学、そして夜の時間帯では山岳民族の紹介をするセミナーをホールにて開催しました。
地元の方を中心に30名以上が参加して、現地での活動紹介や織物の実演などを行いました。
言葉が通じなくて不自由な場面もありましたが、皆さん楽しそうに交流を深めました。(豊田)

➡ ベトナムの方々の紹介の様子

1月の予定

- 4日 仕事始め、初詣、新年会
10日 九電工ワンコイン贈呈式
11日 朝倉推進協議会役員会
12日 ほんげんぎょう
16日 佐賀県推進協議会幹事会
18日 グローバル青年の翼教育関係グループ
ワークショップ
脇山校区新春の集い
20日 八江農芸短期外部研修(～27日)
25日 田隈人権のまちづくり館料理交流会
27日 インドネシア技能実習生デオ帰国
八江農芸短期外部研修(～2/3)
29日 北九州・則松中学校交流会
30日 朝倉商工会議所技能講習

基山町ふ・れ・あ・いフェスタ

12月8日(日)、基山町ふれあいフェスタのステージに研修生が参加をしました。当日は風もなく12月らしからぬ穏やかな気候でした。また、センターでも行事が行われていたため研修生は13名での参加となりました。

ステージでは研修生の前に登場した女性消防団員の消防体操に飛び入り参加し、研修生のステージでは女性消防団員の皆様が一緒にダンスする不思議な光景もありました。研修生は自己紹介の後、ダンス3曲とバンブーバンドで会場を盛り上げていました。

会場内では多くのブースやイベントも行われ、オイスカ佐賀県推進協議会(会長:島松孝夫氏)のパネル展示やいくつかの会員企業・団体が販売を行っていました。帰りには松田一也基山町長からも研修生に激励をいただき、思い出に残るイベントになりました。(安東)



まるごと!西日本

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org 検索 オイスカ西日本

第674号
令和2年1月号付録

←FacebookとInstagramに日頃の様子を更新中！
是非チェックお願いします！

昭和三十六年より開始したオイスカ国際協力活動も平成を経て新たな時代 令和へと継続させていただいております
これもひとえに皆さまのご支援あってこそと感謝致します
今後とも母なる地球のふるさとづくりに向けた海外研修生の人材育成に邁進してますよう
本年も何卒変わらぬご支援ご指導を賜り
よろしくお願い申し上げます

令和二年 元旦
公益財団法人オイスカ西日本支部
会長 瓜生 道明
所長 廣瀬 兼明



謹んで新年のご挨拶を申し上げます



イエローレシートキャンペーン

12月11日(水)、イオン甘木店でイエローレシートキャンペーンが行われました。これは毎月11日にレシートが黄色に変わり、集めたレシートの合計金額の1%を支援していただけるもので、今年度2度目の呼び掛けです。

オイスカ朝倉推進協議会(会長:秋重義信氏)からは高瀬嘉重事務局長と鶴田喜代子副会長が参加。研修生も6名が参加して1階と2階のレジ前でレシート回収のお願いをしていました。この日は年末近くでしたが、特売日の翌日であったため、お客様の数が少なく感じました。また、午後から別の行事も入っていたため、いつもより短いキャンペーンとなりました。

それでも多くのレシートを集めることができました。多くのご協力ありがとうございました。この活動は次年度も継続する予定ですので、引き続きよろしくお願ひいたします。(安東)



福岡農業高校交流会

12月12日(木)、福岡農業高校に出向いて食品科学科の3年生との交流会に参加をしてきました。交流会の内容は自己紹介から始まって2班に分かれてインドカレー作りやもちつきを行い、昼食をはさんで国の紹介と民族舞踊と一緒に踊りました。学生たちは非常にノリがよく、研修生に交じって大盛り上がりで踊ってくれました。

交流会の後には場内の見学とミカン狩りをさせていただき、研修生はネットの袋いっぱいにミカンを収穫して喜んでいました。



飯倉中央小学校交流会

12月3日、バングラデシュ、インド、メキシコ、チベットの研修生が飯倉中央小学校で5年1組、2組の子ども達と交流しました。最初に子ども達からクイズを通じて福岡の紹介をしてもらいました。研修生にとっては少し難しかったようです…。次に研修生達が国紹介をしました。子どもたちが事前学習をしていたこともあり、研修生の話を聞くだけではなくいろいろな質問をしてくれました。研修生達は子ども達がよく話を聞いて嬉しく話していました。帰り際にチベットのサンモさんが子ども達の名前をチベットの文字で書いてあげると子ども達が次々と「私にも書いてください！」と集まってきた。他の研修生達も名前を書いてあげていました。短い時間ではありましたが、研修生と子ども達が仲良くなれて良かったです。(園田)



須恵町国際交流協会クリスマス会

12月7日、須恵町国際交流パーティーに招待されました。この日は他のイベントもあったため、研修生7名での参加となりました。英会話教室の生徒さんによる劇や太鼓のステージ、日本在住のベトナムの方によるプレゼンがあり、研修生達は踊りと歌を披露しました。会場のみなさんが一緒に踊ってくれ盛り上りました。最後にプレゼントがもらえるゲームがあり、ディリープ



さんがお米をゲットしました！！パーティーにお招きいただきありがとうございました。(園田)

若い人達が楽しく踊っている様子

人数は少ないですがパンプーバンドを楽しむ歌っている様子

早良高校文化体験

12月23日、早良高校で剣道、書道、茶道の日本文化体験が行われました。はじめは剣道体験で、胴着をつけ竹刀を手に持つとみんな決めポーズをし、写真を撮っていました。先生と学生に打ち方を教わり、はじめは控えめでしたが、コツが掴めたら「メイン」と大きな声を出しながら思い切り打っていました。書道体験では漢字の成り立ちを勉強してから漢字の練習をしました。初めてで難しかったようですが、お手本をよく見て書いていました。最後に2020年の1枚もののカレンダーに書きたい漢字や自分の名前を漢字で書きました。最後に茶道体験をしました。研修生達は母国で正座をする習慣がないのでしょうか。はじめはみんなじっと堪えて正座をしていましたが、途中で「足をくずしてもいいですよ」と先生から言われホッとした様子でした。抹茶も和菓子も好きらしく、母国へお茶を持って帰りたいという研修生もいました。先生方、学生も冬休みに入っている中、研修生達のために時間をさいていただきありがとうございました。文化体験を通じて物事に取り組む姿勢などいろいろなことが学べたのではないかと思います。研修生にとって忘れられない体験になりました。(園田)



アトリエ木下ファミリークリスマス

12月4日、オイスカ会員企業のアトリエ木下様のファミリークリスマス会が福岡市中央区の浄水通り本店のレストランで行われ研修生全員ご招待をいただきました。クリスマス会には社員の皆様をはじめご家族の方と一緒に美味しい料理に舌鼓を打ち楽しく交流をさせていただきました。またクリスマスプレゼントタイムに入ると、インド研修生のディリープさんがサンタさんに扮して子供たちにプレゼントを配るなど会場を盛り上げ、更には木下社長より素敵なスペシャルプレゼントが参加者全員に渡され研修生たちは大満足のようでした。研修生たちにとってアトリエ木下の皆様方とクリスマスを日本でお祝いすることができ幸せいっぱいでした。

お招きいただき本当にありがとうございました。(満川)



木下社長と一緒に記念撮影

チャペルで記念撮影

福岡県青少年団体連絡協議会宿泊研修会

12月7日～8日、1泊2日の日程で福岡県青少年団体連絡協議会のジュニアリーダー養成の宿泊研修会が西日本研修センターで行われました。当日は各青少年団体(県BBS連盟・ボイスカウト・ガールスカウト・海洋少年団・青年の会・DIC)の代表の方はじめ団員14名の方にご参加をいただきました。研修では農業体験(サトイモ堀り)やアジアの料理つくり体験、また研修生たちは母国の紹介やお国自慢やフリップを使って説明を行い、夜はキャンドルサービスを通して交流会も行われ大変盛り上りました。ご参加いただいた皆さんには研修センターのタイムスケジュールに沿って、6時15分に起床、その後点呼、体操、ジョギングなど海外の研修生たちと一緒になって生活をしていただき、日頃の生活から離れ普段味わえない環境の中で貴重な体験をしていただきました。研修生たちにとって良い思い出ができました。青連協の皆さんご参加本当に有難うございました。(満川)



佐世保市内産業視察と長崎国際大学交流会に参加

11月27日(水)、長崎県推進協議会からの招待で、佐世保市内にある企業2社(坂元木工、東部重工業)を訪問し、日本における最先端の木工技術と溶接の技術などを見学しました。どちらの企業も研修生に対し丁寧に対応していただき、日頃見る機会のない製造の現場を体感することが出来ました。

その後、佐世保市内にある長崎国際大学を訪問し、茶道の体験や学生との交流会に参加してきました。こちらの大学では茶道を教科に取り入れており、学生たちが真心をこめて入れてくれたお茶を美味しいいただきました。

交流会では国の紹介やゲーム、踊りの披露など、学生と一緒に楽しむことが出来ました。特に可愛い女性がいると男の研修生はいつも以上に盛り上がって、とても楽しそうでした。(豊田)

ゲームをして
楽しく一緒に
いる様子



坂元木工の見学の様子



東部重工業見学・訪問様子

日本語の様子⑧

Bクラスは11月26日、Aクラスは11月28日をもって、日本語の授業は終了しました。また、12月1日には、日本語能力試験を無事に終えることができました。研修生はこれから正月のホームステイや外部研修、またアクションプランの作成などで日本語と格闘することになるでしょう。

先日、中庭のウサギを見ながら、メキシコ人研修生エリサさんが、国でペットとして飼っていた

ウサギや猫の話を日本語で表情豊かに話してくれました。ふと、日本へ来て1,2か月経ったころに、ペットのウサギが亡くなったと悲しそうに話してくれたのを思い出しました。あの頃は、日本語で1文しか話せなかつたのに、今は長く日本語で話すことができます。エリサさんだけではなく、ほかの研修生も、きっかけがあれば、日本語でいろいろなことを話すことができます。センターでは、日々の生活や交流会、視察などを通して、日本語を話すきっかけがたくさんあります。とても恵まれた環境です。残りの時間を大事に使って、能力試験で計り知れない日本語力を身につけてほしいものです。まだまだ、頑張れ！研修生！（立石考子）



2019年11月22日

高取公民館のクリスマス会

12月21日、高取公民館のクリスマス会に参加しました。高取公民館のクリスマス会へ行く前に九州電力生活協同組合設立30年記念パーティに行きました。そのために、研修生全員が自分達の国の洋服を着ました。着ているまま高取公民館のクリスマス会に行きました。ここでは色々な外国人が参加しました。そして、色々な国の料理を出されました。センターではインドのドライチキンカレーとご飯を持ってきました。ほとんど出された料理は美味しかったです。面白いゲームもありました。研修生はフィジーのメケ、インドの踊り、チベットの踊りをしました。研修生の皆さんは高取の人達と楽しく交流が出来て良かったです。（リナ）



研修生の紹介コーナー⑦



モンゴル人の Magnaibayar Delgermurun です。ニックネームはデギです。23歳です。環境保全型農業技術の研修生です。日本来る前にセレンゲの文化センターのスタッフでした。



☺ ☺ ?? デギさんに聞いてみましょう?? ☺ ☺

●モンゴルのおすすめの料理は何ですか？ ➡ バンシュタイ・ツァイです。

バンシュタイ・ツァイはミルクティーの中にぎょうざが入っている食べ物です。味はしょっぱく熱いミルクティーです。ぎょうざみたいな物を入れていますが時々乾燥をした肉も入っています。栄養がたっぷり入っています。とても美味しいです。寒い日と雨の時にこの食べ物は最高です。年配の方々がこの食べ物に7つのぎょうざを入れると色々な病気を治すと信じています。元気がない時、夜にこれを食べると次の日に元気になります。私はこの料理が大好きです。

バンシュタイ・ツァイ



●日本の料理で何か1番好きですか？ ➡ カレーライスと肉の揚げ物です。肉の料理だったら何でも食べます。モンゴルから来ているので肉の料理は慣れています。朝食から夕食まで家に肉の料理が出ています。

●日本はどうですか？ ➡ モンゴルと日本はとても違います。特に気温です。初めて来た時にとても暑い国だなと思いました。でも日本の冬は涼しいです。そして、日本はとてもきれいな国です。またもう1回戻りたいと思います。



●日本での目標、頑張ることは何ですか？ ➡ 日本語と農業を勉強することです。

●好きな言葉は何ですか？ ➡ 日本語では“時間は真実の判断者”です。センターでは色々な国から来ている人がたくさん居ますが色々な習慣と色々な言葉を聞いています。この言葉を話すと気持ちが良くなると思います。

ミャンマーから来た Sai Lin Aung です。ニックネームはサイです。29歳です。環境保全型農業技術の研修生です。日本来る前にオイスカミャンマーで農業とセンターの色々な作業をしました。



☺ ☺ ?? サイさんに聞いてみましょう?? ☺ ☺

●ミャンマーのおすすめの場所は何ですか？ ➡ ピン・ウー・ルウェイン市です。ピン・ウー・ルウェインでは国の花と野菜の生産の中心地です。集中的に栽培されている最も重要な花は菊、アスター、グラジオラスです。年間を通してミャンマーの隅々まで輸出されています。この場所は花がたくさんですのできれいです。ユニークな馬車とイギリスの植民地の家屋があつてピン・ウー・ルウェインはミャンマーの他の町よりも際立っています。



ピン・ウー・ルウェイン市

●日本の料理で何か1番好きですか？ ➡ とんかつとカレーライスです。

●日本はどうですか？ ➡ ゴミが無い、きれいな国です。ミャンマーでは今でもゴミの問題があります。また日本は一人でどこでも行けると思います。迷子になつても、日本人は優しく行き方を教えてくれると思います。

●日本での目標、頑張ることは何ですか？ ➡ 機械を勉強することです。特に、農業機械です。

●好きな言葉は何ですか？ ➡ ミンガラバ！です。日本での挨拶は色々あります。例えば、おはようございます、こんにちは、こんばんはという挨拶があります。

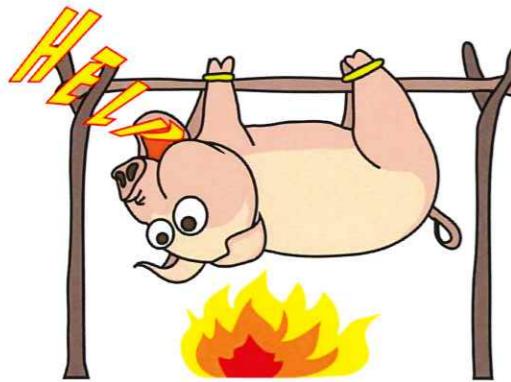
ミャンマーではミンガラバだけです。挨拶は大事ですので、ミャンマーに行ったらミンガラバという言葉だけを覚えれば少しでも会話できるかなと思います。



体験農園ふるさとだより

先日テレビ番組で、どこかの料理人が「お肉の中で一番美味しいのはジビエの肉だ」と言っていた。その理由は、自然の中から取ったエサを食べているから肉が美味しいとなるのだろう。通常の市販の豚肉などは、狭いオリに入れられて、高カロリーの飼料や食物残渣を食べて太らされている。ストレスを感じているだろうし、その影響はお肉にも出てくるだろう。自然の中で生活しているイノシシ達は、ストレスは多少感じているだろうが、オリに入れられているよりはまだと思う。オイスカのセンターでは、近所の猟師さんが罠に捕まったイノシシを頻繁に持ってきてくれて、それをフィリピンのスタッフが上手にさばいてくれる。

さばいたお肉はイベントなどでお客さんにバーベキューとして振る舞われるが、ちょっとお肉が硬いと文句を言うときもしばしあった。これからは研修生やお客さんにも「私たちは最高級の肉をいただいているのですよ」としっかりと伝えて感謝しながら味わいたい。(豊田)



秋に収穫祭で美味しく焼いているの
ください
で是非、来年の収穫祭に食べに来て

ケーキ作り

ケーキをデコレーションするのは大好きですが経験はありません。でも、12月19日に女性研修生と一緒にケーキのデコレーションをしました。この日にこういう体験が出来て本当に嬉しかったです。デコレーションをしている時は心を静かにして、色々なことを考えました。自分がやっていることは大好きですので、デコレーションをきれいにしました。他の研修生の作品を見たらとてもきれいです。皆のデコレーションがとても上手にできました。店で売っているケーキみたいでした。皆がそれぞれ好きなようにデコレーションをして、できたケーキでコンテストをしました。私はとてもびっくりしました。シンプルなデコレーションでしたが1位でした。とても嬉しかったです。

(農業研修生のケイティ)



私の作品、きれいでしょう！！

博多クリスマスマーケット

12月22日、研修生達が博多駅前のクリスマスマーケットに出演しました。去年まで夜の部で行いましたが今年は昼間でした。昼間でも雨が降っていたことでお客様が来ないと思いましたが、結構たくさん来ていました。駅の前に屋根がありますので、その下に人が座りました。もし、雨が無かったらもっと人が多かったと思います。研修生達のステージが2回ありました。1回目は14:30、2回目は15:30でした。研修生は国で行っているプロジェクトについてA1サイズのパネルを使って発表をしました。その前にバンブーバンドを演奏しました。今年はフィジーのメケ、チベットの女の子らしい踊りとインドの楽しい踊りでした。2回のステージで研修生達は元気で楽しくプレゼンをしました。観客の皆さんには大盛り上がりでした。(リナ)



右上の写真:バンブーバンドの演奏で楽しく歌っている様子

国で行っているプロジェクトを紹介(写真はbangladesh)

インドの踊りを楽しんで踊っている研修生



12月のもちつきイベント参加記録

12月の研修生は、「もちつき大会」の参加でなかなか忙しい。

11月30日に脇山小学校で行われたもちつき大会に初めて参加してから、12月15日(日)の野芥校区のもちつき、そして21日(土)には体験農園のもちつき大会へと続いた。

その後年末にかけては次の通りとなっている。

12月25日(水)佐賀県のひなた村自然塾(保育園)

12月26日(木)センター

12月27日(金)若竹保育園、ワッキー主基の里

12月28日(土)ワッキー主基の里、近所の馬場さん宅

研修生は5,6名のグループに分かれてそれぞれのイベントに参加するが、新しい年を迎えるときには、日本人の誰よりももちつきが上手になっている。

そして何よりもすごいことは、研修生はもちつきが大好きであるという事である。

研修生のもちをついている様子を見た地域の方は、「オイスカの研修生は日頃から農業をしとるけん、杵の使い方がうまかねえ」という感想を言ってくれる。

どこの地域も高齢化が進んでいる中で、研修生たちの馬力と「もちつき愛」は、地域の皆様から大変喜んでいただいております。(豊田)



11月30日、脇山校区の餅つきの様子



12月21日、体験農園の餅つきの様子



12月26日、センターの餅つきの様子



12月25日、ひなた園で小さい子供達と一緒に餅つき



12月28日、ワッキーの餅つきの様子



立石課長と高校時代の恩師との餅つき

(有)ゼナの感謝の会に参加

12月12日(木)、毎年年末の時期に招待して頂いている(有)ゼナ主催の「感謝の会」に、OB研修生デリックを連れて参加してきました。(有)ゼナさんは長きにわたってオイスカ活動を支援いただいている会員企業で、キャナルシティなどで似顔絵や占いのコーナーを運営している会社です。

「感謝の会」でのステージでは、OB研修生のデリックが日頃見せたことのないパプアニューギニアの踊りを一所懸命披露し、会場を沸かせてくれました。その他にもCMソングを多数手がけている歌手の方のステージや抽選会などもあり、OB研修生共々楽しませていただきました。(豊田)

頑張れ研修生達～！

モンゴル研修生以外の研修生は初めての冬を迎える。冬は暑い国からの研修生にとっては大変ですが、モンゴルの研修生2名は平気です。でも、夏は逆になります。夏の時の収穫は朝 5:30 から始まります。冬だとこの時間はまだ暗いで、収穫は屋間に行います。収穫した野菜は外で洗いますので気温が寒いし、水も冷たいです。今の時期は大根、かぶ、ネギ、人参、チンゲン菜、サニーレタス、白菜などが収穫できます。冬に慣れていない研修生は友達と一緒に作業していますので毎日楽しいです。皆と一緒に何でも楽しい時間になります。収穫した野菜の中で変な形があったら、皆で笑います。収穫をしたばかりの野菜は美味しいです。センターの食堂で毎食刻んだネギを食べています。体に良いと言われて研修生達もよく食べています。皆、大根は苦手ですがマヨネーズで和えた大根サラダを美味しく食べています。冬はまだ2ヶ月ありますが研修生達頑張れ～！(リナ)

収穫をしたばかりの大根



オイスカ県議会議員連盟 研修生懇親会

12月11日、福岡県議会にて「オイスカ国際活動促進福岡県議会議員連盟(会員83名)塩川秀敏会長」主催のオイスカ海外研修生との懇親会が開催されました。当日は議会終了後、研修報告会を行い、栗原議長他会員並びに県の執行部の皆様に本年の活動及び過去の研修を終えて、それぞれの母国でどのような活動を行っているかの説明をしました。また、懇親会では小川洋県知事、副知事も参加頂き、賑やかに行われ、お決まりのバンブーバンドや国の踊りを披露しました。議員連盟の皆様、いつも応援頂きありがとうございます。(廣瀬)



九州電力生活協同組合創立30周年記念式典参加

12月21日、ホテルニューオータニにて開催された式典に研修生も参加しました。九電生協は長年オイスカ活動に支援頂き、海外での植林にも参加頂いています。当日は田中理事長より寄付贈呈があり、今後のオイスカ活動へのサポートを頂きました。研修生は舞台に上がり、民族舞踊やバンブーバンドで会場を盛り上げ、せめてものお返しとして皆で搗いた紅白餅を配りました。今後ともご支援頂きますようお願い致します。ありがとうございました。(廣瀬)



体験農園「オイスカ・脇山ふるさと広場」



四季折々の体験を通して、子どもたちが成長し、家族の絆を深めます

体験期間：令和2年2月29日開園～8月末（約半年）

場 所：福岡市早良区脇山地区（オイスカセンターより車で2分）

1組あたりの区画：30m²

体験料金：24,000円（半年間）※肥料、苗、資材、栽培指導料込

募集区画数：10区画

【内 容】

- 春・夏野菜（トマト、ナス、ピーマン）など10種類以上の栽培、管理
- 作付期間中に5回栽培指導（植え付け準備や収穫作業など）を行ないます
- 管理方法は有機栽培で指導を行ないます
- オイスカ海外研修生との交流も楽しめます
- 年間を通して四季折々の行事を準備しています

山ほど持つて帰れますよ(^ー^)



盛り沢山の野菜と旬の味覚を是非味わってください。

申し込み方法：電話・FAXまたはe-mail

問合せ先：オイスカ西日本研修センター（担当豊田）

電話：092-803-0311 FAX：803-0322

e-mail：toyoda@oisca.org

主催：(公財) オイスカ西日本研修センター

体験農園とは、園主が栽培する作物を決めて、畠の準備から肥料の手配などを行ない、収穫までの作業を参加者と一緒に体験してもらい、収穫物は全て利用者が収穫出来る仕組みになっています。失敗が少なく農業技術の習得にも役立ちます。